

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	20 第三セクター等改革推進償還基金積立事業											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810520	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公社継承土地などの貸付・売却収入を第三セクター等改革推進償還基金に積み立て、第三セクター等改革推進債の繰上償還の財源とする。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	公社解散により、福知山市が継承した土地の利活用を進め、土地貸付収入や土地売却収入を財源に、第三セクター等改革推進償還基金に積立てを行う。 平成24年度に発行した第三セクター等改革推進債(借入額2,996百万円)のうち、定期償還とは別に、平成25年度から令和2年度にかけて総額14億円の繰上償還を実施していくものである。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	185,508	156,216	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	△ 65,793	△ 50,700	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	119,715	105,516	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	119,715	105,516	0	
決算情報	① 流充用額	45	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	119,760	105,516	0	0
	③ 執行額	119,760	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	119,840	240	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	元金の繰上償還累計額	億円	11.7/12.0	12.9 / 13.5	14 / 14	/	14
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	土地開発公社解散に伴い、発行した三セク債30億円の早期返済を進めるために、必須の事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	公社からの継承土地の売却を促進し、貸付収入とあわせた活用益を基金に積み立て、同年度に元金の繰上返済に充当している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	継承土地の貸付・売却収入を把握し、その全額を積み立てている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	第三セクター等改革推進債返済の当初計画では、令和元年度までに14億円の繰上償還を実施する予定であったが、継承土地の処分が年々困難となったため、令和2年度まで1年間延長し、目標額14億円の繰上償還を完了した。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	第三セクター等改革推進債の繰上償還の終了時期は、当初計画より1年延びたが、令和2年度末には継承土地の貸付収入の活用により、目標額14億円の繰上償還を完了した。これにより本事業の目的は達し、事業を終了する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	17 一時借入金利子											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810517	款	11 公債費	項	01 公債費	目	01 元利償還金	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	歳計現金が不足する場合に、金融機関などから短期(年度内に償還する条件)の借入れを行ない、円滑な会計処理を行なう。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	歳計現金が不足する場合に、金融機関等から短期(年度内に償還する条件)の借り入れを行った場合に発生する、日割りの利息を支払う。ただし、近年は基金からの繰替運用を行って資金不足に対処しているため、基金の出納閉鎖を行う年度末にのみ必要な措置。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,000	1,000	1,000	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	1,000	1,000	1,000	
予算財源内訳	① 一般財源	1,000	1,000	1,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,000	1,000	0	0
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	80	0	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		【定性的評価のため入力なし】					
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	一時借入実施日数	日	/ -	0 / -	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支払いを担保する歳計現金の残高維持のために、最小限の短期借入れは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 実勢に即して年度末のみの最小限の借入れとしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 歳計現金が不足した場合の資金調達として有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度は一時借入れを行う必要がないと見込んでいるが、歳計現金が不足した場合には、必要に応じて一時的に収支不足を補う。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も、歳計現金の残高を維持する必要がある場合には適正に実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	16 基金運用事業											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810516	款	11 公債費	項	01 公債費	目	01 元利償還金	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	歳計現金が不足する場合に、基金を繰替運用することで、一時借入金を抑制する。											
対象者						対象者数			単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	歳計現金が不足する場合に、基金を繰替運用することで、一時借入金を抑制する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,000	1,000	1,000	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	1,000	1,000	1,000	
予算財源内訳	① 一般財源	1,000	1,000	1,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,000	1,000	0	0
	③ 執行額	513	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	51.3%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	80	80	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	593	80	80	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		[定性的評価のため入力なし]		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰替運用延べ日数	日	-/-	188 / -	73 / -	/ -	
	単位あたりコスト		-	2.7			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・日々の支払いを担保する歳計現金の残高維持のために、最小限の短期借入れは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・実勢に即して年度末のみの最小限の借入れとしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・発生利息は一般財源を原資としているが、市の外部ではなく基金に還流させて基金の安全確実な運用に役立っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	歳計現金が不足する期間に、実勢に即して最小限の繰替運用を行うことで、歳計現金の残高が維持できている。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も、歳計現金の残高を維持する必要がある場合には適正に実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	15 補助金等償還事業											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810515	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過年度に受け入れて決算済となった国府補助金などについて、後年度に返還を要する場合に本事業から適時適切に当該金額を支出する。											
対象者	国、府、団体、個人など					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	過年度に受け入れて決算済となった国府補助金などについて、事業実績の確定に伴い当該補助金が過大交付であったことが明らかとなった場合その他返還を命じられた場合等に、本事業から適時適切に当該金額を返還する。 実務的には、補助金受け入れ担当課が、国府などからの確定通知及び返還通知等を受領し、返還に必要な起案を行い、これに財政課が伝票を添付して支払いを行なう。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	10,000	10,000	10,000	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	88,523	85,397	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	98,523	95,397	10,000		
予算財源内訳	① 一般財源	88,825	89,859	10,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	9,698	5,538	0	
決算情報	① 流充用額	616	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	99,139	95,397	0	0
	③ 執行額	99,065	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.9%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.04 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	320	400	400	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	99,385	400	400	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		[定性的評価のため入力なし]		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	国府補助金等の返還漏れ	件	0/0	0 / 0	0 / 0	/ 0	
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	返還義務のある概算交付を受けた補助金等の年度をこえた精算事業であり、適正に返還を進めることは行政の所管事項であり、必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	返還義務のある返還金以外の事務コストはかかっておらず、最小の経費での執行となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	返還期限までに返還義務のある返還金を支出することが唯一の目標であり、そのために有効な事務となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	当然のことながら、実績報告及び所管省庁などの確定後に発せられる返還通知を受け、必要な返還作業は指定された納期限までに遅滞なく行っており、失念や遅延をきたさず実施している。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	従来通り、該当があればその都度、適正に速やかに事務処理を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	36 減債基金積立事業											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810436	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	減債基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	減債基金に積み立てることで、将来負担の軽減に活用する。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	将来負担軽減のため、余剰財源等が発生した場合に同基金に積立てを行い、翌年度以降の繰上償還の財源とする。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	127,957	503,970	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	127,957	503,970	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	127,957	500,000	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	3,970	0	0			
決算情報	① 流充用額	15,572	二次公表時記載	0	0			
	② 配当予算	143,529	503,970	0	0			
	③ 執行額	143,529	二次公表時記載	0	0			
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	80	320	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	143,609	320	0	0				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	減債基金積立額	百万円	/	143.5 / 128	583.9 / 0	/ 0	
	単位あたりコスト			-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	減債基金に積み立てを行い、将来負担の軽減に活用している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	当該年度の余剰財源等を適正に把握し、減債基金へ積立てている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	当該年度の余剰財源等を活用することで、公債費の負担軽減や、幼児教育・保育無償化など、将来の財政負担を軽減するために有効である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	余剰財源等が発生した場合のみ実施するものであるが、将来負担軽減を図ることができる。【定性的評価】令和2年度は、翌年度以降の公債費負担軽減のため、合併通減対策を原資に積立てを行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も、減債基金に積み立てできる財源が確保できる場合には検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	33 予備費												
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸					
会計情報	事業コード	810433	款	12 予備費	項	01 予備費	目	01 予備費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	地方自治法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方自治法第217条の規定により、一般会計において予備費は必ず設けなくてはならない。 議決された当初予算は、目的別に計上された一会計年度の見積りであるが、年度途中における不測の事態により予算の過不足が生じてくることは避けられず、そのたびに軽微な補正予算を組むことは、困難かつ非効率であるため、予備費を設けてこれに対処することとしている。												
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	一般会計各目的歳出(款項目)に対して一会計年度あたり最大50,000千円を充用する。 ただし、予備費の用途は憲法第89条による公金の支出制限等、法令上支出してはならない費途に充てることはできない。また法令上支出できる費途であっても議会の否決した経費に充てることはできない(地方自治法第217条第2項)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	二次公表時記載												

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	50,000	50,000	50,000	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	△ 1,260	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	50,000	48,740	50,000		
予算財源内訳	① 一般財源	50,000	48,740	50,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 25,183	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	24,817	48,740	0	0
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.02 / 0.00	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	160	160	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	80	160	160	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	過去5か年の予算計上額の範囲内で予備費充用を実施し、機動的かつ柔軟な予算執行ができていることから、事業の妥当性と必要性については、これまでも今後も疑念の余地はない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	充用残額がそのまま一般会計の実質黒字を構成する。他市に比較して、当該予算計上額はやや多額となっているが、水害や豪雨などによる被災頻度が高いため必要な規模であると考えている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	予備費は予見しがたい緊急事態に対し、早急な対応が求められる費途に用いられており、迅速かつ機動的な予算執行を可能にしている本事業の有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	補正予算を編成すると、専決処分または議会の議決によりこれを成立させ予算を執行することになるが、専決処分は議会軽視を免れず、また議会の議決には時間を要するため、柔軟かつ機動的な対応が要請される場合にはいずれにしても制約が多い。このため、地方自治法で規定された予備費の制度は妥当であり、必要かつ有効なものである。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	災害発生時において、本復旧予算は議会の承認により補正予算を編成・成立させることになるが、応急復旧、災害救助など、迅速な財政出動が必要な場合には、予備費の範囲内で必要な財政出動を発動することが今後も有効である。こうした背景や本市の特性を踏まえ、一般会計の予備費は毎年50,000千円を計上しているが、当面は現状維持で考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	31 地方債繰上償還金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810431	款	11 公債費	項	01 公債費	目	01 元利償還金	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	第三セクター等改革推進償還基金積立事業(財政課)											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方債の繰上償還を実施し、将来の公債費負担を軽減することで財源不足を回避し、必要な行政サービスの維持に寄与する。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・地方債の繰上償還による負担軽減											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	518,102	110,000	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	90,000	500,000	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	608,102	610,000	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	500,000	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	608,102	110,000	0	
決算情報	① 流充用額	20,299	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	628,401	610,000	0	0
	③ 執行額	628,401	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,040	1,280	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	629,441	1,280	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	三セク債年度末返済残高	億円	4.7/4.1	2.3 / 1.7	0.5 / 0.5	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	三セク債の繰上償還累計額	億円	11.7/12.0	12.9 / 13.5	14 / 14	/	14
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>公社解散に伴い、平成24年度に発行した三セク債30億円の早期返済を進めるために、必須の事業である。</p> <p>後年度の公債費負担の軽減を図ることで、財政健全化に寄与する。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>継承土地の売却を促進し、貸付収入とあわせて活用益を早期に基金に積み立て、同年度に元金の繰上げ返済に充当している。</p> <p>減債基金の残高推移や収支余剰金の把握に努め、効率的な繰上償還の実施を計画している。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>土地の活用益を把握し、全額を積み立て、積立金残高の範囲内で繰上償還を進めている。</p> <p>後年度の公債費負担の軽減を図ることで、市民一人当たりの市債残高の減少や経常収支比率、公債費負担比率などの各種財政指標の改善につながり、財政健全化に寄与する。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>第三セクター等改革推進債返済の当初計画では、令和元年度までに14億円の繰上償還を実施する予定であったが、継承土地の処分が年々困難となっており、令和2年度まで1年間延長することで、目標額14億円の繰上償還完了を見込んでいる。</p> <p>また、令和2年度には、第三セクター等改革推進債以外の一般会計市債について、5億円の繰上償還を実施しており、市債残高の減少と後年度の公債費負担の軽減を図っている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>第三セクター等改革推進債の繰上償還は、令和2年度末で継承土地の貸付収入の活用により、目標額14億円の繰上償還を完了した。</p> <p>また、その他の市債返済についても、後年度の公債費負担の軽減を図るため、減債基金や収支余剰金を活用し、積極的に繰上償還の実行に努めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	29 地方債元利償還金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810429	款	11 公債費	項	01 公債費	目	01 元利償還金	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	過年度に借り入れた長期債について、元利均等償還を基本として、年2回償還(返済)を行っている。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	過年度に借り入れた長期債について、元利均等償還を基本として、年2回償還(返済)を行っている。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	5,247,290	5,054,368	5,285,615	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①~③)	5,247,290	5,054,368	5,285,615	
予算財源内訳	① 一般財源	5,204,474	5,017,846	5,248,901	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	42,816	36,522	36,714	
決算情報	① 流充用額	△ 20,299	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	5,226,991	5,054,368	0	0
	③ 執行額	5,217,198	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.8%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.17 / 0.00	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,360	1,120	1,120	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,218,558	1,120	1,120	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	定期償還日の償還不履行	回/年	0/0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	元金償還額	百万円	4,668/4,712	4,898 / 4,905	4,749 / 4,770	5,053	
	単位あたりコスト		-	-	-	-	
	利子支払額	百万円	376/402	320 / 342	268 / 284	233	
単位あたりコスト		-	-	-	-		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	借入れを行なった地方債については、システムで管理をしており、返済を滞りなく疎漏なく実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も計画的に適切に償還を行なっていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	26 財政運営一般事業											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	810426	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	03 財政管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	予算編成、執行管理、決算業務、地方債の発行償還業務など福知山市の財政を健全かつ効率的に運営する。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト											
事業概要 (箇条書き)	予算編成、執行管理、決算業務、地方債の発行償還業務など福知山市の財政運営管理に要する経費。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,543	1,411	1,368	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	1,543	1,411	1,368		
予算財源内訳	① 一般財源	1,543	1,411	1,368	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	186	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,729	1,411	0	0
	③ 執行額	1,729	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人環 工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	9.50 / 0.00	9.11 / 0.00	9.11 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	76,000	72,880	72,880	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	77,729	72,880	72,880	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		【定性的評価のため入力なし】					
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	予算説明書印刷冊子数	数	120/120	120 / 120	110 / 120	/ 110	
	単位あたりコスト		17.9	14.4			
	説明会開催数	回	8/9	2 / 11	0 / 5	/ 5	
	単位あたりコスト		267.9	864.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	財政課における需用費や旅費、役員費、委託料、負担金など主に内部事務的経費のため、不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	財政課における内部事務的経費であるが、議員へのタブレット導入に伴い、決算成果説明書の印刷外注経費を削減するなどの工夫を行い、効率的な執行を心がけている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	財政課事務は滞りなく行うことができた。活動実績にある財政説明会については、各中学校区区に向いて開催する方法から、大規模説明会と希望自治会における小規模開催を組み合わせる方法に切り替えた影響で回数が減少した。また、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし。説明会そのものは、平成30年度に始めた取組みであり、有効な方法を模索していく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	財政課における内部的な事務的経費であり、必要に応じて適宜、執行している。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	財政課における内部的な事務的経費であり、継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	32 下水道事業会計負担金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	540332	款	04 衛生費	項	03 下水道費	目	01 下水道施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	下水道事業会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	下水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、下水道事業会計の財政基盤の安定を図る。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	下水道事業会計への負担金											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	903,233	870,409	940,792	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	903,233	870,409	940,792	
予算財源内訳	① 一般財源	903,233	870,409	940,792	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	903,233	870,409	0	0
	③ 執行額	828,892	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	91.8%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	400	400	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	828,972	400	400	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]		/	/	/	/	
		0	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	負担金決算額	百万円	807.0/876.0	828.9 / 903.2	806.0 / 870.4	/ 940.8	
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	企業会計(下水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	企業会計(下水道事業会計)を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	62 上水道事業会計負担金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	540262	款	04 衛生費	項	04 上水道費	目	01 上水道施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	030501	施策名	安心・安全な水を安定供給する								
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	上水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、上水道事業会計の財政基盤の安定を図る。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	上水道事業会計への負担金(平成29年度から簡易水道事業を上水道事業に統合)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	381,335	368,479	360,216	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	88,408	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	381,335	456,887	360,216		
予算財源内訳	① 一般財源	381,335	368,479	360,216	
	② 国支出金	0	88,408	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	381,335	456,887	0	0
	③ 執行額	375,825	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	98.6%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	400	400	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	375,905	400	400	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	負担金決算額	百万円	377.3/379.8	375.8 / 381.3	444.7 / 456.9	/	360.2
	単位あたりコスト		-	-			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	企業会計(上水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	企業会計(上水道事業会計)を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	53 農業集落排水施設事業特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課						所属長	蘆田 祐幸			
会計情報	事業コード	510453	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	06 集落排水費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する								
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	農業集落排水施設事業特別会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農業集落排水施設事業の健全な運営を図るための農業集落排水施設事業特別会計に対する繰出金。											
対象者	-						対象者数	-		単位あたりコスト		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	農業集落排水施設事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	542,563	544,122	578,374	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	△ 5,893	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	536,670	544,122	578,374	
予算財源内訳	① 一般財源	536,670	544,122	578,374	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	536,670	544,122	0	0
	③ 執行額	536,670	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	400	400	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	536,750	400	400	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]		/	/	/	/	
	0		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	549.6/546.4	536.7 / 542.6	541.3 / 544.1	/ 578.4	
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは適当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	特別会計への繰入金により、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	農業集落排水施設事業を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	74 国民健康保険事業特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	450274	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050103	施策名	市民の健康を増進する								
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	国民健康保険法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	659,340	634,901	642,192	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	△ 2,551	202	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	656,789	635,103	642,192		
予算財源内訳	① 一般財源	373,668	357,137	364,226	
	② 国支出金	68,429	67,873	67,873	
	③ 府支出金	214,692	210,093	210,093	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	656,789	635,103	0	0
	③ 執行額	643,375	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	98.0%	二次公表時記載		
人算工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	240	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	643,455	240	240	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	657.6/654.7	643.4 / 659.3	643.6 / 634.9	/	642.2
	単位あたりコスト		-	-			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰出を行うことにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	国民健康保険事業を円滑に運営していくため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	65 後期高齢者医療事業特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	420265	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する								
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	後期高齢者医療事業特別会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	後期高齢者医療事業の健全な運営を図るための後期高齢者医療事業特別会計に対する繰出金。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	人件費、その他後期高齢者医療事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,243,867	1,275,660	1,307,988	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	888	15,301	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	1,244,755	1,290,961	1,307,988	
予算財源内訳	① 一般財源	1,048,273	1,073,956	1,088,822	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	196,482	206,382	208,543	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	10,623	10,623	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,244,755	1,290,961	0	0
	③ 執行額	1,209,720	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	97.2%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	240	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,209,800	240	240	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	1,164.9/1,192.7	1209.7 / 1243.9	1278.6 / 1275.7	/	1308.0
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰出を行うことにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	後期高齢者医療事業を円滑に運営していくため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	03 介護保険事業特別会計繰出金												
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課				所属長	蘆田 祐幸						
会計情報	事業コード	420203	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する									
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	介護保険法第124条												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	介護保険事業特別会計各事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	介護保険事業の健全な運営を図るための介護保険事業特別会計に対する繰出金。 介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことを目的とする。											
対象者	-		対象者数	-		単位あたりコスト						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	介護給付及び予防給付に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費を一般会計から介護保険事業特別会計に繰出金として支出する。法定負担割合は、介護保険法第124条に基づいている。 人件費相当額は、介護保険事業運営にかかる人件費から法定負担分を除いた分と賦課徴収業務にかかる人件費、認定審査会委員報酬。 事務費相当額は、介護保険システム改修にかかる費用と、介護認定審査会のうち委員報酬除く分等。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,332,471	1,378,309	1,375,219	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	16,640	△ 20,759	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	1,349,111	1,357,550	1,375,219	
予算財源内訳	① 一般財源	1,299,986	1,274,179	1,290,916	
	② 国支出金	31,853	55,581	56,202	
	③ 府支出金	17,272	27,790	28,101	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,349,111	1,357,550	0	0
	③ 執行額	1,310,171	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	97.1%	二次公表時記載		
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	400	400	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,310,251	400	400	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	1,172.4/1,237.4	1310.2 / 1332.5	1305.4 / 1357.6	/	1375.2
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	高齢化が進むなか、当該繰出金は増加傾向で推移しているが、法定負担分については、介護保険法で定められているものであり、継続していかねばならない。保険料で賄うことができない人件費、事務費への繰出分についても、介護保険事業を円滑に運営していくために継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	14 休日急患診療所費特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	410214	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	07 休日急患診療所費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる								
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	休日急患診療所費特別会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	休日急患診療所の円滑な運営を図るための休日急患診療所費特別会計に対する繰出金											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	休日急患診療所費特別会計における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	8,766	8,600	11,306	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	△ 500	10,336	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	8,266	18,936	11,306	
予算財源内訳	① 一般財源	8,266	18,936	11,306	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	200	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	8,466	18,936	0	0
	③ 執行額	8,466	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	320	320	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,546	320	320	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	9.6/9.6	8.5 / 8.3	17.2 / 18.9	/ 11.3	
	単位あたりコスト		-	-			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	休日急患診療所を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	15 国民健康保険診療所費特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課						所属長	蘆田 祐幸			
会計情報	事業コード	410115	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 診療所費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
計画期間	開始年度	昭和39年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	国民健康保険診療所費特別会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険診療所の円滑な運営を図るための国民健康保険診療所費特別会計に対する繰出金											
対象者	-						対象者数	-		単位あたりコスト		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	国民健康保険診療所費特別会計における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)					主な業務内容					
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	6,564	6,459	5,312	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	△ 1,830	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	6,564	4,629	5,312	
予算財源内訳	① 一般財源	6,564	4,629	5,312	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 200	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	6,364	4,629	0	0
	③ 執行額	5,599	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	88.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	240	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,679	240	240	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	6.0/7.2	5.6 / 6.6	4.6 / 6.5	/ 5.3	
	単位あたりコスト		-	-			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰出を行うことにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	国民健康保険診療所を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	14 病院事業会計負担金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	410114	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (病院事業会計への負担金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	病院事業会計各事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市立病院(市民病院、大江分院)の運営を維持するため、一般会計より必要な経費の一部を補助することにより、病院事業会計の健全な運営を図る。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (病院事業会計への負担金)											
委託先・実施主体等	病院事業会計(市民病院分、大江分院分)への負担金											
事業概要 (箇条書き)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)					主な業務内容					
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,310,063	1,353,690	1,455,539	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	5,830	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
	小計(①~③)	1,310,063	1,359,520	1,455,539				
予算財源内訳	① 一般財源	1,310,063	1,353,690	1,435,539				
	② 国支出金	0	5,830	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	20,000				
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0	0	0	
	② 配当予算	1,310,063	1,359,520	0	0	0	0	
	③ 執行額	1,310,063	二次公表時記載	0	0	0	0	
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載					
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	80	400	400	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,310,143	400	400	0	0	0	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	負担金決算額(市民病院分)	百万円	1,129.9/1,138.8	1178 / 1178	1,250.0 / 1,246.1	/	1,343.8
	単位あたりコスト		-	-	-	-	
	負担金決算額(大江病院分)	百万円	116.9/116.0	132.1 / 132.1	106.0 / 102.8	/	106.3
	単位あたりコスト		-	-	-	-	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	企業会計(市民病院・大江分院)に負担金を支出することにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	企業会計(市民病院、大江分院)を円滑に運営するため、継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	13と畜場費特別会計繰出金											
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	事業コード	210613	款	04 衛生費	項	05 と畜場費	目	01 と畜場施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する								
計画期間	開始年度	昭和39年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	と畜場の円滑な運営を図るためのと畜場費特別会計に対する繰出金。											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	と畜場費特別会計運営における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)					主な業務内容					
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,004	2,016	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	2,004	2,016	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,004	2,016	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	47	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	2,051	2,016	0	0
	③ 執行額	2,051	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	240	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,131	240	240	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	[定性的評価のため入力なし]			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	2.0/2.0	2 / 2	2 / 2	/ 0	
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、円滑な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、円滑な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、円滑な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	特別会計に繰出をすることにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	と畜場は令和2年度末において休止となるため、今後は精算に向けての処理が必要となる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	05 公設地方卸売市場事業特別会計繰出金												
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課					所属長	蘆田 祐幸					
会計情報	事業コード	210605	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する									
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	公設地方卸売市場事業特別会計各事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公設地方卸売市場の円滑な運営を図るための公設地方卸売市場事業特別会計に対する繰出金											
対象者	-					対象者数	-		単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	公設地方卸売市場事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を一般会計から支出する。 卸売市場内の取引の公正を期するため、業者の指導監督等に要する経費等として営業費用の30%を繰出基準内としている。 価格安定対策事業分、相対出荷促進事業分などは、繰出基準外としている。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	14,000	9,300	25,300	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	14,000	9,300	25,300	
予算財源内訳	① 一般財源	14,000	9,300	25,300	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	14,000	9,300	0	0
	③ 執行額	10,354	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	74.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.01 / 0.00	0.03 / 0.00	0.03 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	80	240	240	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,434	240	240	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	【定性的評価のため入力なし】						
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	繰出金決算額	百万円	1.7/6.4	10.4 / 14	6.9 / 9.3	/ 25.3	
	単位あたりコスト		-	-			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化により大規模改修の必要性が見込まれる中、今後の市場のあり方について検討を進めている。施設の維持管理状況に応じて繰出しを行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--